

2017年3月期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<http://www.with-us.co.jp>





目次

ウィザスについて

トップメッセージ	．．．．．	P.3
ウィザスとは	．．．．．	P.4
会社概要	．．．．．	P.5

2017年3月期 決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P.6
-------	-------	-----

事業別概況

事業別業績	．．．．．	P.11
事業別生徒数推移	．．．．．	P.12
学習塾事業	．．．．．	P.15
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P.16
その他	．．．．．	P.20

株主還元・CSR活動

株主還元について	．．．．．	P.25
CSR活動等の実施	．．．．．	P.26

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「意欲喚起教育（EMS※）」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

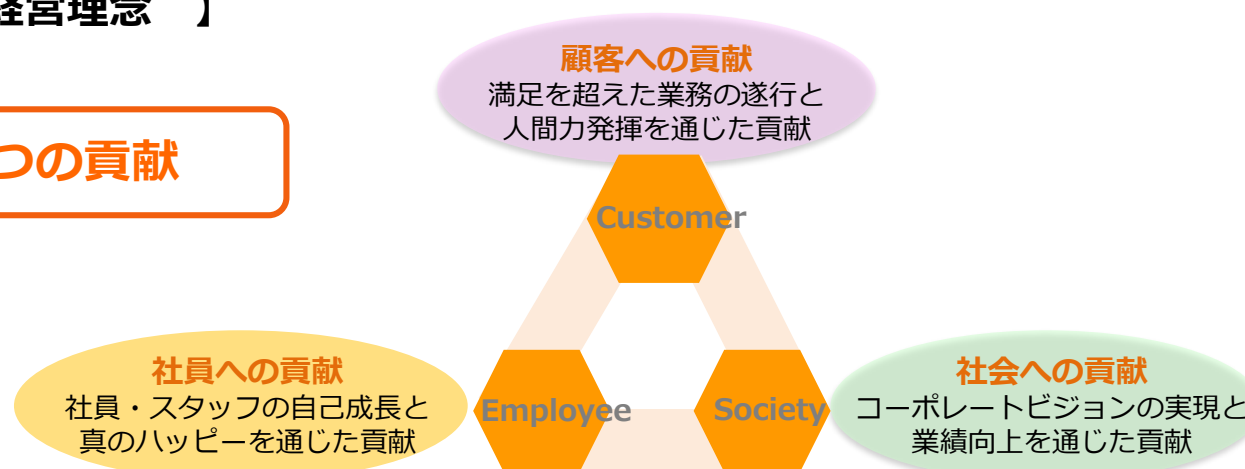
※the Educational Method of Self-motivation（P.13ご参照）



代表取締役社長
生駒 富男

【 経営理念 】

3つの貢献



【 コーポレートビジョン 】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導
(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社



高校・キャリア支援事業

広域通信・単位制高等学校の運営及び高等学校卒業程度認定試験（高認）合格のための受験指導、保育士・介護福祉士等の資格取得に向けた学習支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global



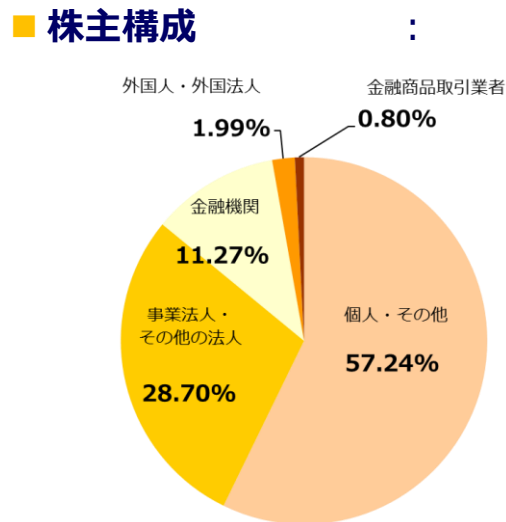
その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、ランゲージサービス事業等

(株)SRJ、(株)V-Growth、(株)レビックグローバル、(株)吉香等

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 779 名 (男 : 545 名 女 : 234 名) ※2017年3月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2017年3月末現在



	株主名 (2016年12月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,238	12.30%
2	株式会社増進会出版社	626	6.22%
3	ウィザス社員持株会	547	5.44%
4	堀川 直人	466	4.63%
4	堀川 明人	466	4.63%
6	堀川 一晃	271	2.69%
7	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66%
8	株式会社みずほ銀行	267	2.65%
9	株式会社市進ホールディングス	220	2.18%
10	日本生命保険相互会社	217	2.15%

(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
 (注2) その他には自己株式を含んでおります。

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。
 (注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要（連結）

(百万円)	2016年3月期 実績		2017年3月期 実績		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
売上高	13,679	—	14,313	—	634	4.6%
売上原価	9,721	71.1%	10,287	71.9%	565	5.8%
売上総利益	3,957	28.9%	4,026	28.1%	68	1.7%
販売管理費	2,817	20.6%	<u>3,396</u>	<u>23.7%</u>	<u>579</u>	<u>20.6%</u>
営業利益	1,140	8.2%	<u>629</u>	<u>4.3%</u>	<u>△ 510</u>	<u>△44.8%</u>
経常利益	1,167	8.5%	<u>653</u>	<u>4.6%</u>	<u>△ 514</u>	<u>△44.0%</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益	540	4.0%	<u>112</u>	<u>0.8%</u>	<u>△ 427</u>	<u>△79.2%</u>

■ 売上高 14,313百万円（対前期+634百万円、+4.6%）

- ・ 新規11校の出店・移転3校・増床1校の設備増強
- ・ M&A実施による新分野進出(日本語教育事業、通訳・翻訳等のランゲージサービス事業)分野への進出
- ・ サービス形態の多様化対応
 - 技能習得型(聞く、話す、読む、書く)英語学習の推進
 - ICTの活用による映像配信授業エリアの拡大
 - スペシャリスト育成を図る異業種パートナーとの提携
 - 時代のニーズを先取りした小学生からのプログラミング・スクールの設置

■ 経費 13,683百万円（対前期+1,145百万円、+9.1%）

- ・ スクラップ&ビルド実施による設備投資と人員増
- ・ 競合激化による新年度生徒募集費増、
- ・ M&A実施による取得費用およびのれん償却の計上
- ・ 不採算校の閉鎖および固定資産減損等による特別損失計上

次期計画（連結）

(百万円)	2017年3月期 実績		2018年3月期 計画		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
売上高	14,313	－	15,856	－	1,543	<u>10.8%</u>
売上原価	10,287	71.9%	11,340	71.5%	1,053	<u>10.2%</u>
売上総利益	4,026	28.1%	4,516	28.5%	489	<u>12.2%</u>
販売管理費	<u>3,396</u>	<u>23.7%</u>	3,500	22.1%	103	<u>3.0%</u>
営業利益	<u>629</u>	<u>4.4%</u>	1,016	6.3%	386	<u>61.3%</u>
経常利益	<u>653</u>	<u>4.6%</u>	883	5.6%	230	<u>35.2%</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<u>112</u>	<u>0.8%</u>	272	1.7%	160	<u>141.5%</u>

主な施策：次代に向けた成長戦略実行のための先行投資

- サービス品質の向上と、時代の変化に対応した商品の提供や業態開発による顧客サービス力向上
- 学習塾事業、高校・キャリア支援事業において、過去最大規模の新規17校の出店(2校は子会社)
- 前期にグループ化した通訳、翻訳等の株式会社吉香と日本語教育サービスを展開する株式会社Genki Globalが次期より本格的に寄与
- 資本・業務提携及びM&Aの継続実施による事業領域の拡大
- 人的資源の確保と養成

当連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて8億52百万円増加し、126億52百万円となりました。

（単位：百万円）

	2016年3月期 期末実績	2017年3月期 期末実績
流動資産	5,668	<u>5,568</u>
現金及び預金	4,626	4,361
授業料等未収入金	415	394
その他流動資産	626	<u>813</u>
有形・無形固定資産	3,211	<u>3,947</u>
投資等	2,921	<u>3,135</u>
資産合計	11,800	<u>12,652</u>
流動負債	4,698	<u>5,454</u>
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	780	896
未払金・前受金	3,108	3,392
未払法人税等	49	<u>248</u>
その他流動負債	759	<u>918</u>
固定負債	2,135	<u>2,258</u>
長期借入金・社債	310	307
その他固定負債	1,825	<u>1,951</u>
純資産合計	4,966	<u>4,939</u>
負債・純資産合計	11,800	<u>12,652</u>

■ 主に積極的なM&A実施によるのれんの増加により、総資産は増加

2017年3月期 決算データハイライト（連結 CF）

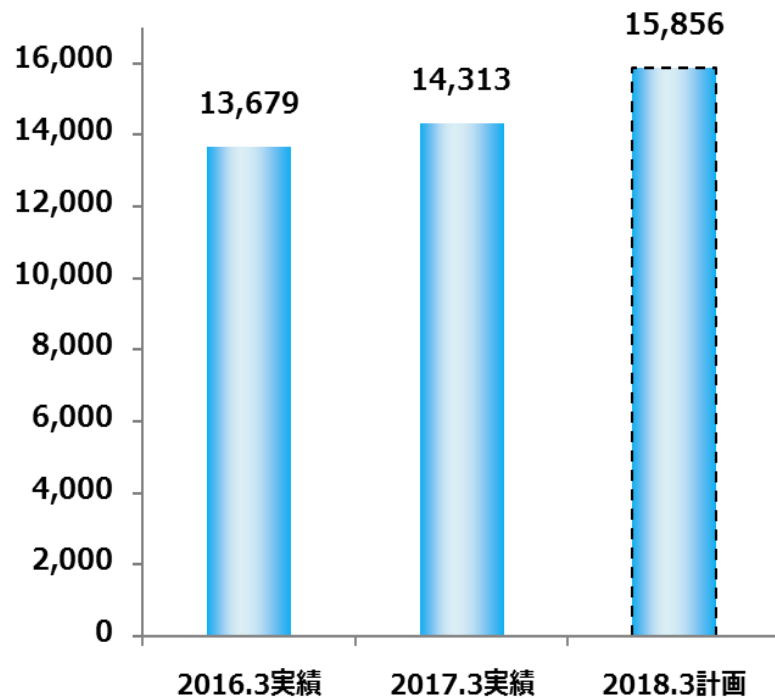
（単位：百万円）	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	899	1,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	544	△ 1,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 746	△ 268
現金及び現金同等物の期末残高	4,546	4,263

<p>➤ 営業活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益 前受金の増加 減価償却費 減損損失 	<p>11億78百万円</p> <p>4億13百万円</p> <p>84百万円</p> <p>3億71百万円</p> <p>2億75百万円</p>	<p>➤ 財務活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 社債の償還による支出 配当金の支払 	<p>△2億68百万円</p> <p>△1億10百万円</p> <p>△1億39百万円</p>
<p>➤ 投資活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得による支出 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 保険積立金の積立による支出 	<p>△11億93百万円</p> <p>△2億 7百万円</p> <p>△7億69百万円</p> <p>△1億51百万円</p>		

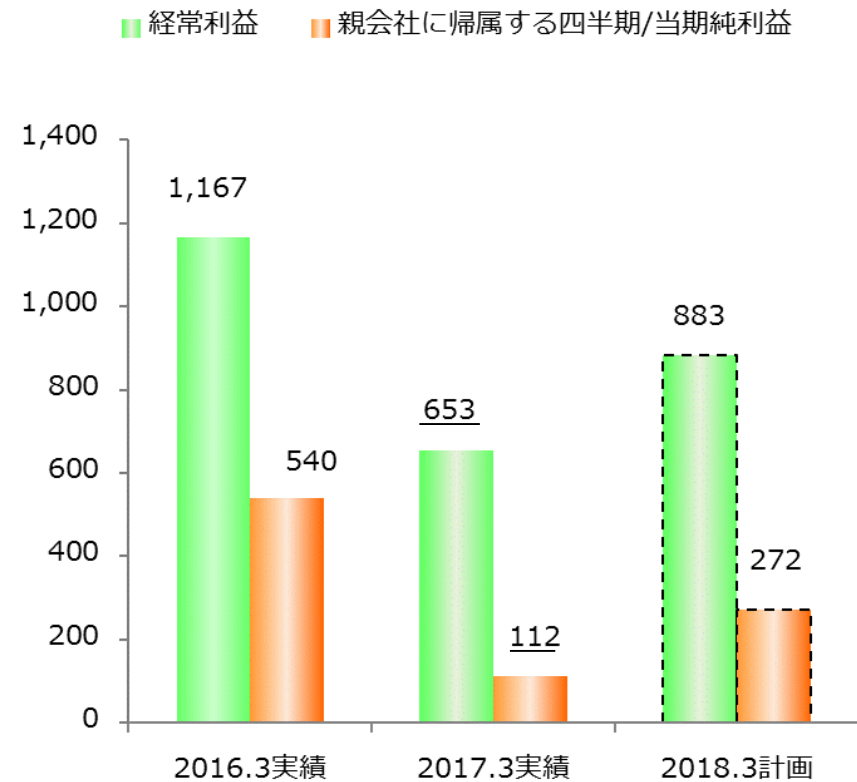
連結業績推移

(単位：百万円)

売上高



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



事業別業績（連結）

（単位：百万円）

	学習塾事業			高校・キャリア支援事業		
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画
売上高	8,048	8,068	8,193	4,182	4,481	4,901
営業利益	1,289	1,013	1,053	704	667	711
校舎数	170校	172校	186校	37校	38校	41校
生徒数	19,276名	18,657名	19,044名	6,332名	6,747名	6,511名

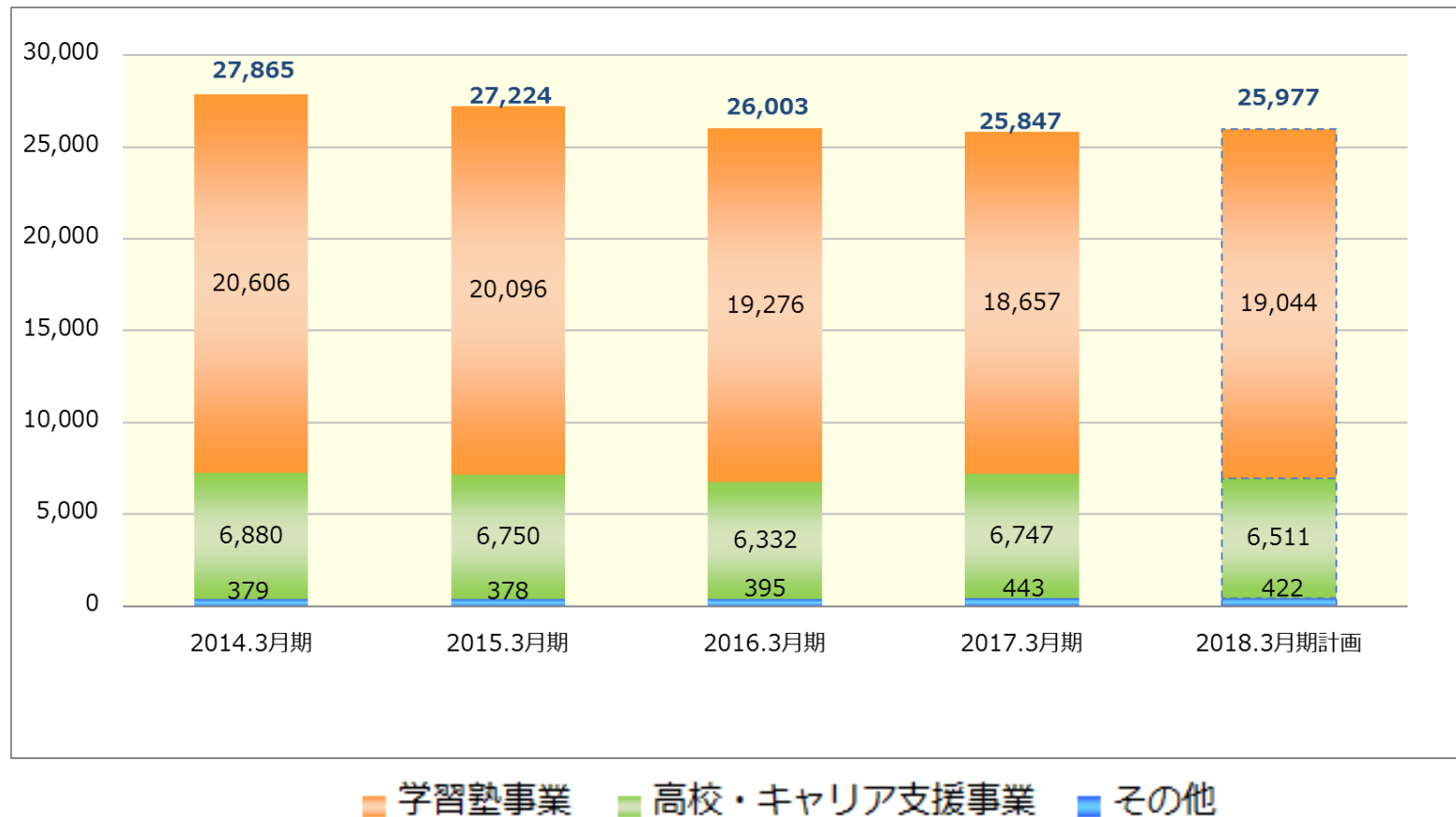
	その他			調整額		
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画
売上高	1,448	1,764	2,762	-	-	-
営業利益	104	93	346	△ 957	△ 1,144	△ 1,094
校舎数	7校	7校	7校	-	-	-
生徒数	395名	443名	411名	-	-	-

- （注）・営業利益は本社経費配賦前営業利益を記載しております。
・校舎数と生徒数は、子会社を含む連結ベースであり、生徒数は期中平均数を記載しております。
・「その他」の校舎数及び生徒数は幼児英語教育分野の校舎数・生徒数を記載しております。

事業別生徒数推移（連結）

期中平均生徒数

(単位：人)



(注) ・上記数値は正規在籍者のみを掲載しており、講習会等の行事参加者は除いております。

・高校・キャリア支援事業には、日本語教育サービスの生徒数を含んでおります。

・その他は、幼児英語・英語学童保育の生徒数を記載しております。

校舎展開

コア事業におけるニーズに応じた出店とともに、日本語学校等の新分野進出により、より多様な教育サービスの提供を通じて、競争力強化及びドメインの拡大を図っております。現在、全国に217校を展開しております。

全国217校

(2017年3月末現在)

近畿地区 168校

新規

SUR大学受験合格
指導会 阿倍野校



ファロス
野田阪神駅前教室



SUR大学受験合格
指導会 松原校



ファロス
阿波座教室



ファロス
元町駅前教室



ファロス
関目高殿教室



第一ゼミナル
豊津校



第一ゼミナル
東三国校



沖縄地区 11校

新規

ガゼット 石垣登野城校



中国地区 3校

九州地区 7校

四国地区 1校

中部・東海・北陸地区 10校

新規(日本語教育)

I.C.NAGOYA



北海道地区 1校

東北地区 4校

関東地区 12校










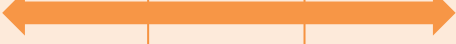













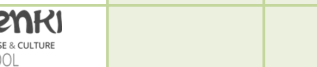






新規

第一学院 秋葉原校



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、対象や地域を超え、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。グローバル化の進展に対応し、名古屋にて日本語教育サービスを展開する(株)エヌ・アイ・エスに続き、通訳・翻訳等の語学サービス及高度人材派遣サービスを提供する(株)吉香、更に福岡・東京で日本語教育サービスを展開する(株)Genki Globalを子会社化いたしました。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウィザス	 第一ゼミナール					
		 ファロス個別指導学院					
		 第一ゼミパシード PASSERBY					
		 スクールZ					
		 合格指導会 (シュール)					
		 MedSUR (メッドシュール)					
	(株)学習受験社	 (ガゼット)					
	(株)佑学社	 佑学社・大阪教育					
	(株)フォレスト	 国語学習会					
高校・キャリア支援事業	(株)ウィザス	 第一学院高等学校					
		 第一学院専門カレッジ					
	(株)エヌ・アイ・エス (株)Genki Global	 				日本語教育サービス	
その他	幼児教育、ICT教育・能力開発、広告、企業内研修等・外サイト、ランゲージサービス等	    Daichi Progress 株式会社ふみコミュニケーションズ REVIC GLOBAL 株式会社レビックグローバル 					

学習塾事業： 独自の教育プログラムによる顧客満足度の追究

意欲喚起教育EMS (the Educational Method of Self-motivation)

意欲喚起教育EMSとは、当社41年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。

生徒が本気で全力を発揮するために、学習することの意義を理解し「自分ならできる」と信じて前向きに勉強することの大切さを授業が始まる前の短い訓話や年4回の意欲喚起特別講座で伝えています。

「目標は志望校合格、目的は社会で活躍できる人づくり」を開塾当初から掲げる第一ゼミナールの理念を色濃く反映したこのプログラムは、民間教育機関として初の「経済産業省キャリア教育アワード」をはじめ、数々の賞を受賞しております。

このように将来も見据えたEMSにより、単に教科学習だけに終わらず、自己成長を図る高付加価値教育サービスを提供することで、社会で活躍できる人づくりに貢献すると共に、顧客満足度の向上をはかってまいります。



2017年3月期 実績	
校舎数	172校
期中平均生徒数	18,657名
売上高	8,068百万円
営業利益	1,013百万円



2018年3月期 (通期計画)	
校舎数	186校
期中平均生徒数	19,044名
売上高	8,193百万円
営業利益	1,053百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

高校・キャリア支援事業

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。様々なニーズに対応したコースや教育プログラムを開発・開講し、全国47都道府県から入学することができます。

設置コース

- 通学型 キャンパスコース、本校通学コース、
専門コース(芸能・スポーツ・美容・ペット)、個別指導コース
- 通信型 Mobile HighSchool (通信コース)、高認取得コース



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

2017年3月期 実績

校舎数	38校
期中平均生徒数	6,747名
売上高	4,481百万円
営業利益	667百万円



2018年3月期（通期計画）

校舎数	41校
期中平均生徒数	6,511名
売上高	4,901百万円
営業利益	711百万円

キャリア支援事業

第一学院専門カレッジ

■社会人を対象に週1～2日の通学で保育・介護・ビジネスの資格取得に向けた授業を実施しております。実技授業により、現場で活用できる知識を身につけることが可能です。

設置コース 保育士コース、介護福祉士実務者研修、キャリアデザインコース



■日本語教育サービス

国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。(株)エヌ・アイ・エス(I.C.NAGOYA)は主にアジアからの留学生に対して、(株)Genki Globalはヨーロッパ諸国からの日本語学習者・留学生に対して日本語教育サービスを提供しています。

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。



芸能コース

大手芸能事務所 渡辺プロダクショングループ渡辺高等学院との連携により開講。多数のタレントを輩出しているノウハウを活用したカリキュラムで「高校卒業」×「芸能デビュー」を目指します！



スポーツコース (サッカー)

通信制のメリットを最大限に活用し、学習時間とトレーニング時間を効果的に確保。サッカーに専念できる環境の中で、競技成績向上と社会で活躍できる人材を目指します。



美容コース

美容専門学校との提携により、プロの美容師になるための専門知識に加え、エステやネイル・メイクなど、「美」に関するプロの技術を実践的に身につけます。



ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで幅広い専門知識を身につけます。

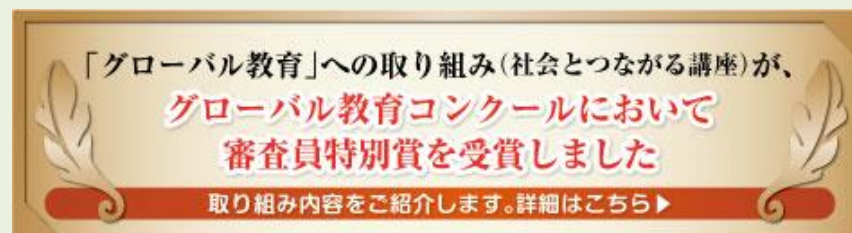
トピックス：第一学院高等学校のICT教育・グローバル教育の取り組みが評価され、数々のコンクールで受賞しました。！



第一学院高等学校では、生徒の「学習意欲の向上」と「学力の定着」を目的に、アクティブラーニングの手法を取り入れたICT教育を、昨年度より本格的に推進しています。

その取り組みが評価され、eラーニングアワード2016フォーラムにおいて、「第13回日本eラーニング大賞『EdTech特別部門賞』」を受賞しました！！

「日本e-Learning大賞」
2004年に創設された「日本e-Learning大賞」は一般社団法人e-Learning Initiative Japanならびに日本工業新聞社（フジサンケイビジネスアイ）により運営されています。本制度は、新しいe-Learningの可能性を例証し、ブロードバンド社会におけるe-Learningの健全な発展、市場の確立およびコンテンツ・サービス提供企業の育成を支援することを目的としています。企業・自治体・団体におけるe-Learningを用いた生産コストダウン・生産性向上・業務改革、また学校・個人においては新しい学習の可能性・学力向上に役立つさまざまなコンテンツ・サービス、ならびにソリューションを表彰します。



第一学院高等学校では「グローバルスタンダード」と「ダイバーシティ」をテーマにした「社会とつながる講座」を展開しています。

全5回の講座の中で、ライブ配信授業（双方向での講義）→教室でのワークショップ→全国のキャンパスに向けた発表→振り返りを行います。

私たちの身近にある「ヒト」「モノ」「コト」を通じて社会のしくみ・世の中のしくみを学ぶとともに、ワークショップやプレゼンテーションを通じたアクティブラーニングにより、社会に出たときに必要となるコミュニケーション力や課題発見力を養います。

今回、キリーロバ・ナージャ講師に担当していただいた授業「違うからこそ面白い！」が評価され、独立行政法人国際協力機構（JICA）主催 グローバル教育コンクール2016「グローバル教育取り組み」部門において、「審査員特別賞」を受賞しました！！

トピックス：世界規模で日本語教育サービスを提供！

インバウンド型日本語教育サービスの提供

当社グループでは予てより、今後の事業領域拡大に向け、グローバル戦略を加速化しており、2016年4月に主にアジアからの留学生向け日本語教育サービスを運営する株式会社エヌ・アイ・エス(I.C.NAGOYA)をグループ化し、日本語教育事業に初めて参画しました。

この度、福岡・東京で日本語教育サービスを展開する株式会社Genki Globalを当社グループに迎えることで、エヌ・アイ・エスとは異なるヨーロッパ諸国からの日本語学習者・留学生を取り込むことが可能になりました。これにより当社グループは世界規模でのインバウンド型日本語教育事業へ新たな一歩を踏み出すことになります。



【株式会社エヌアイエス 会社概要】

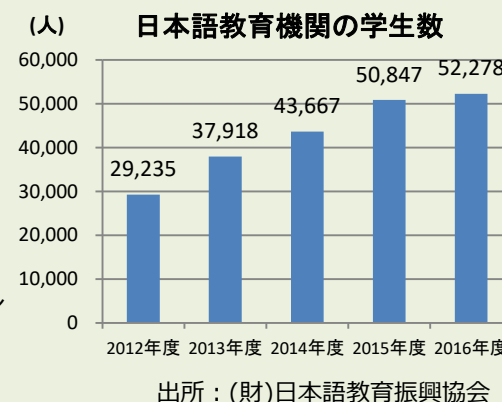
■所在地	愛知県名古屋市
■代表者の役職 氏名	代表取締役 鈴木 貴之
■事業内容	語学学校(I.C. NAGOYA)の 経営等
■設立年月日	1986年5月16日
■決算期	3月31日
■資本金	3,750万円
■株主構成	(株)ウィザス 100%



【株式会社Genki Global 会社概要】

■所在地	福岡市、東京都
■代表者役職 氏名	代表取締役 カービー・エヴァン・タマレーン
■事業内容	語学学校の経営等 (元気日本語文化学校)
■設立年月日	2007年12月
■決算期	11月30日
■資本金	100万円
■株主構成	(株)ウィザス 100%

【ご参考】



政府は、2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す「留学生30万人計画」を推進しています。
日本語教育機関で学ぶ学生数は2013年から増加に転じ、2016年度は過去最高である52,278人となり、今後も増加が見込まれます。

その他

ICT教育・能力開発事業

- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や社会人向けコンテンツも制作・販売しております。
- 小学生向けにe-ラーニング教材での英語学習とアメリカ在住の講師とのオンラインでの英会話レッスンによる英語学習プログラムを提供しております。
- ICT機器やアプリ、ネットワーク構築等のソリューションサービスをワンストップで提供しております。



2017年3月期 実績

売上高	1,764百万円
営業利益	93百万円



2018年3月期（通期計画）

売上高	2,762百万円
営業利益	346百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

企業内研修ポータルサイト事業

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。
- 映像を活用し、学習スタイルや学習方法に応じた最適な教育の開発と学習環境のプロデュース、ナレッジ継承などによる人材育成及び人材開発をサポートします。



ランゲージサービス事業

- 世界90言語に対応できるスペシャリストを抱え、在京テレビ局を中心に同時通訳や映像翻訳等を行っております。
- 通訳・翻訳、秘書、受付、一般事務だけでなく、展示会・周年事業・式典・研修会などの各種イベントに必要な運営・進行スタッフを始めとして専門講師等の派遣を行っております。



世界90言語対応
語学専門サービス

KIKKO は地球上の言語を統括する約90の言語を操ることが出来る専門スタッフを中心に、国際化社会でのコミュニケーションを軸としたインターナショナル・ホスピタリティを提供します。

その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発事業では、速読を当社独自で応用・研究し、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、速読力を総合的に鍛える『速読速解システム』等を制作・販売するとともに、ICTを活用したオンライン英語コースを販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせてベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

速読速解システム



脳科学に基づき開発されたトレーニングを行い、長文を早く正確に読み解き記憶する能力を最大限に引き出し、記憶力や理解力、入試での合格力を高めます。学習塾や公私立学校等1,900校以上の教室で導入され、受講者は累計22万人を突破しております。この速読メソッドを活用し、入試英語に必須の長文読解に特化した「速読英語」と社会人を対象とした資格取得やTOEIC対策に特化した「ビジネス資格90」があり、幅広い年齢層に対応しております。



オンライン英語コース



e-ラーニング教材による学習と、アメリカ在住の先生とオンラインでリアルタイムに会話学習を行います。「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4技能をバランスよく習得し、英語のコミュニケーション能力を育みます。

ICT教育ソリューション・サービス



教育企業グループの経験と実績をもとに、現場の指導者の視点から様々な教育コンテンツを紹介し、それらを円滑に運用可能な端末やコンテンツに導入し、ICT授業に必要なインフラの構築、導入後の端末管理やネット環境などを一括でサポートするサービスです。

その他 企業内研修ポータルサイト事業

法人向けeラーニングサービスの提供



三井住友銀行をはじめとするメガバンクや国内自動車メーカー等の大手製造業、近鉄エクスプレス、アサヒビール等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。映像などのリッチメディアを活用した教材の開発から、学習環境のプロデュース、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

主な製品

■eラーニング教材

- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 営業研修
- ・ 会計/財務
- ・ MBA
- ・ 語学（TOEIC/中国語）
- ・ PC/ITスキル
- ・ CSR/コンプライアンス



■外国人スタッフ向け研修教育（多言語）

- ・ 英語
- ・ 中国語
- ・ ベトナム語



その他 ランゲージサービス事業

通訳、翻訳等の語学サービス及び各種スペシャリスト派遣サービスの提供

当社グループは2016年9月に株式会社吉香を完全子会社とし、通訳、翻訳及びスペシャリスト派遣等のサービス分野に進出しております。株式会社吉香は、通訳・翻訳の分野において90カ国にのぼる多様な言語対応、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けているとともに、昨今のインバウンド需要に対応するため、語学力の高いスペシャリストの派遣等、高度人材サービスを展開しております。従来、首都圏を中心に事業展開をしておりましたが、平成29年度より大阪を中心とした関西エリアでの業務拡大と、より充実したサービスをご提供するため、関西支社を開設いたしました。

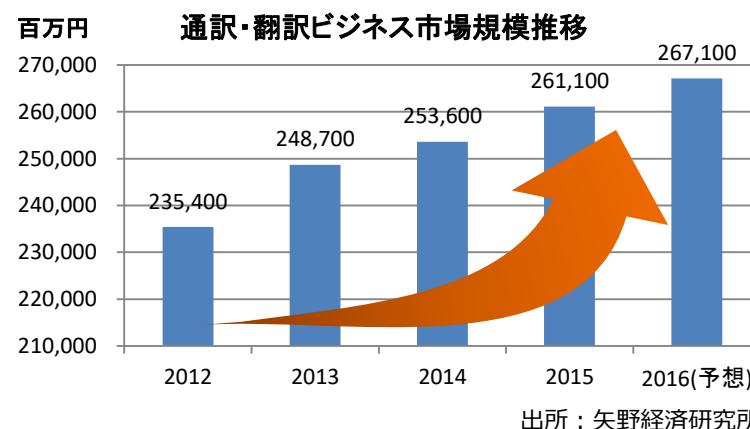
また、当社グループとしましては、語学ビジネス全体として捉え、吉香がもつ英語に関する優れた知見や修得ノウハウを教育に活かし、中核事業である学習塾事業・高校事業での指導に活かしていきます。「4技能修得型の英語力向上プログラム」の構築を目指し、生徒の英語観を変え、前向きに英語学習に取り組むプログラムを開発し、日本人として最適な英語の学び方を提供してまいります。

【株式会社吉香 会社概要】



■所在地	東京都千代田区永田町2丁目11-1 山王パークタワー 3F
■代表者の役職・氏名	代表取締役社長 生駒 富男
■事業内容	通訳、翻訳等の語学サービス及び各種人材派遣事業等
■設立年月日	1979年6月
■資本金	2,000万円
■株主構成	(株)ウィザス 100%
■最近のトピックス	・トランプ大統領就任式 ・オバマ元大統領来日時の通訳 ・大リーグ イチロー選手が日米通算安打数でピート・ローズ氏の大リーグ記録を超えた際のコメント通訳 ・リオ・オリンピック ウサイン・ボルト選手インタビュー通訳 等

【ご参考】



通訳・翻訳ビジネスの市場規模は年々拡大しており、2015年は約2,611億円、2016年の予想規模は2,671億円と前期比2%増となっています。また、2016年度の訪日外国人観光客数は、前年比21.8%増の2,403万9千人で、企業や自治体の外国語対応も進むと想定されています。

その他 幼児教育

世界を舞台に活躍できる人づくりを目指して、本格的な英語教育に力を入れています。学校英語の枠組みとは異なった本物のコミュニケーション能力を育む教育スタイルを実践しております。英語教育の早期化及び学童保育の必要性といった社会のトレンドにいち早く対応いたします。

幼児期からの英会話能力養成



英語で保育、英語で授業をモットーに、経験豊かな外国人との生活面を含めたふれあいを通じて、英会話能力を育成いたします。国際感覚を養成する英語環境の保育施設を大阪府および兵庫県に展開しております。

英語指導を行う学童保育施設の展開



学童保育に加え、ますます進む国際化、英語必須時代に向けて、国際社会で通用するコミュニケーション力を養成するカリキュラムを展開し、英語の4技能（聴く・話す・読む・書く）を本格的に指導します。さらに、映像・ICT教材を活用し、児童の学習意欲を引き出すとともに、ITリテラシー*の向上もはかります。大阪府に2校展開しております。



*1: パソコン・インターネットに関する利用能力



株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

次期の1株当たり配当金につきましては、普通配当として、中間配当を6円・期末配当10円、年間配当金は16円を予定しております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り ^(注1) (%)	株価 (期末終値) (円)
39期	2015.3	13.50	3.2	4.15	325
40期	2016.3	16.00 (記念配2.5円含)	3.6	5.08	315
41期 ^(※2)	2017.3	16.00	3.5	4.22	379
42期予想	2018.3	16.00	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは年度末3月31日時点の株価で算出しております。

(注2) 第41期につきましては、普通配当として中間配当6円、期末配当10円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、「**「世界の子ども」と「地球の未来」を創る**」をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益の一部が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として寄付されます。

キャップ回収：4,802,997個

ワクチン：6,003人分

CO₂削減：37,823.6Kg

2017年4月7日



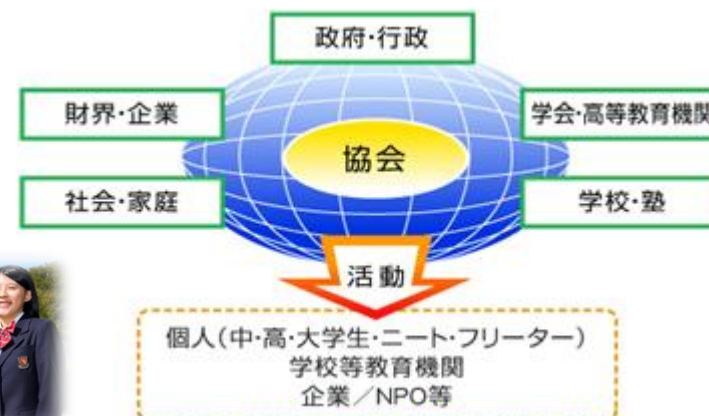
■キャップ800個
→ポリオワクチン1人分

■キャップ400個
→3.15kgのCO₂削減

社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、カウンセラーの養成・研修を推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営企画チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

- ・本資料につきましては、5月12日に公表しました「2017年3月期 決算概況」について一部訂正すべき事項がありましたので、反映して記載しております。なお、訂正箇所につきましては下線を付しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。